

戸上デンソーのDX戦略

2026年5月1日 | 株式会社戸上デンソー

モノづくりから 価値づくりへ

「既存の枠組みにとらわれることなく、新たな価値を創出するビジネスモデルの構築に挑み、時代とともに進化し続ける企業でありたい」

当社は1952年の発足以来、設計から製造、検査までの一貫生産体制を強みとする「配電盤の総合メーカー」として、重要な社会インフラである電気エネルギーの安定供給と制御を支えてまいりました。今日、地球温暖化をはじめとする環境問題への対応が急務となる中、クリーンエネルギーとしての電気の重要性とともに、当社の果たすべき社会的責任と役割もますます高まっております。

現在、私たちを取り巻く経営環境は、原材料や人件費の高騰、技能者不足といった脅威に直面する中で、当社が持続的に成長し、社会への貢献を続けるためには、従来のモノづくりの枠組みにとらわれない抜本的な変革が必要です。

これまで培ってきたカスタム対応力や顧客との信頼関係という「強み」をさらに磨き上げる一方で、中堅層の不足による技術・技能継承の停滞や、属人化による生産性の課題、分断されたIT環境といった「弱み」を克服しなければなりません。

そこで当社は、企業理念「社会を、地球を、未来を豊かに。」、そして目指すべき姿（ビジョン）として「卓越したモノづくりの技術で人々を幸せに」を掲げ、これらを実現するために、DXを本格的に推進いたします。

当社のDXは、単なる業務の効率化にとどまらず、これまでのベテランのナレッジや情報資産を全社で共有・活用できる基盤を整え、技能伝承を進めるとともに、プロセスの標準化や工程の見える化を実現し、さらに、先進的なデジタル技術を融合させることで、私たちが培ってきた技術と経験を新たな領域へと応用して、これまでにない価値を創出し、提供します。

DXの実現には、組織の壁を越えたデータ連携と、社員一人ひとりの意識改革、そして継続的な改善活動が不可欠です。その実現に向けて全社一丸となって突き進み、時代とともに進化し続ける企業へと生まれ変わることを目指し、挑戦してまいります。

2026年5月1日

代表取締役 **古賀 和弘**

現状分析：市場の追い風と、内部のボトルネック

成長を後押しする力



外部の機会：

再エネ・蓄電システムの普及、
省力化・遠隔監視ニーズの拡大



自社の強み：

設計から製造までの一貫生産体制
一品一葉のカスタマイズ力と長年の信頼

改革を阻む壁



外部の脅威：

人件費・材料費の高騰、部品の長納期化、
サイバーセキュリティ要件の強化



内部の弱み：

設計・製造の属人化、全社システム化の遅れ

目指すべき姿



ミッション（使命）：社会を、地球を、未来を豊かに



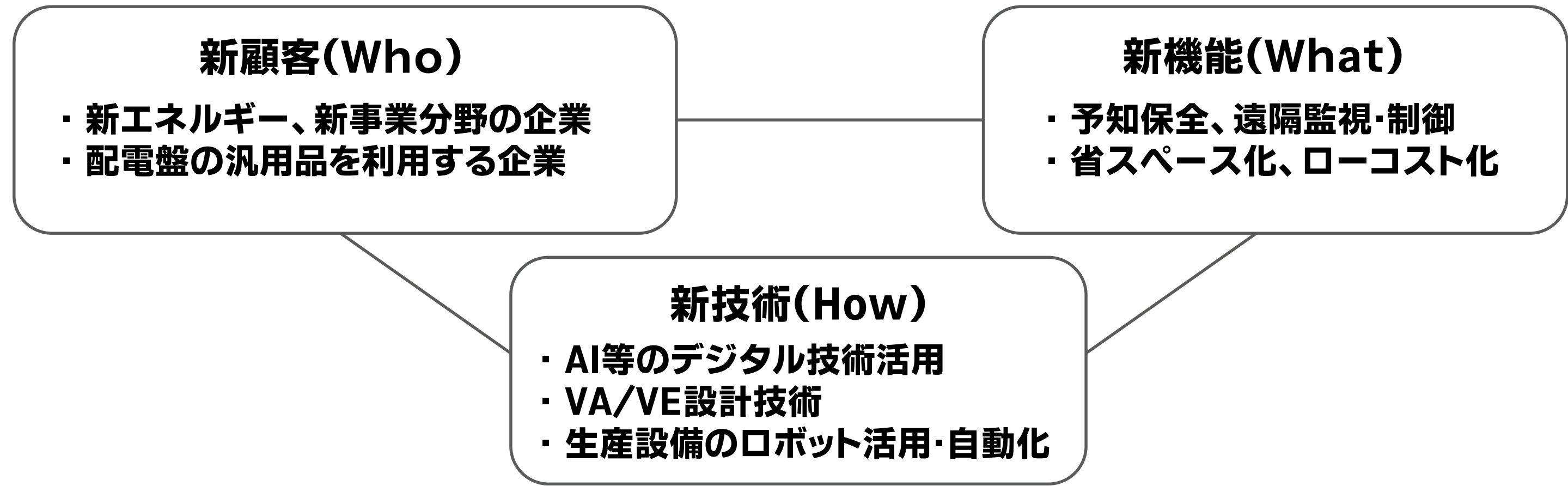
ビジョン（到達点）：卓越したモノづくりの技術で人々を幸せに



バリュー（戦略/行動指針）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 既存業務の更なる効率化と生産性の向上 | 2. 実績データの収集強化と利活用 |
| 3. 設計・製造の属人化解消と標準化の促進 | 4. 新技術開発の推進 |

新たな事業価値の創出モデル



【新しい事業価値】

電気エネルギーの安定供給と制御技術を新分野市場に活用する

DX戦略

方針

AI等の新しいデジタル技術
の活用推進

設計資産の効率的運用

部署間のデータ連携の強化

IT人材育成の推進



具体的な施策

AI等の新しい技術を活用した
社内ナレッジベースのシステム化

設計資産管理のシステム化による
設計データの再利用と効率化

部署間のデータ連携による情報分断
の解消と見える化

IT教育による従業員のスキル向上と
教育計画へのIT要件の拡充

情報システム戦略・体系・活用戦略

情報システム方針

原価可視化による採算性の向上
熟練技術をデジタル化し、生産性を高める
設計から生産・保守までのデータを連携し、一元管理する

情報システム体系

BIツール
リアルタイムな予実管理と
原価可視化による経営判断

PDM連携
図面を起点にした関連情報の
一元化

マスターデータ管理基盤

生産管理（MES）
工程実績、稼働、原価の
リアルタイム収集

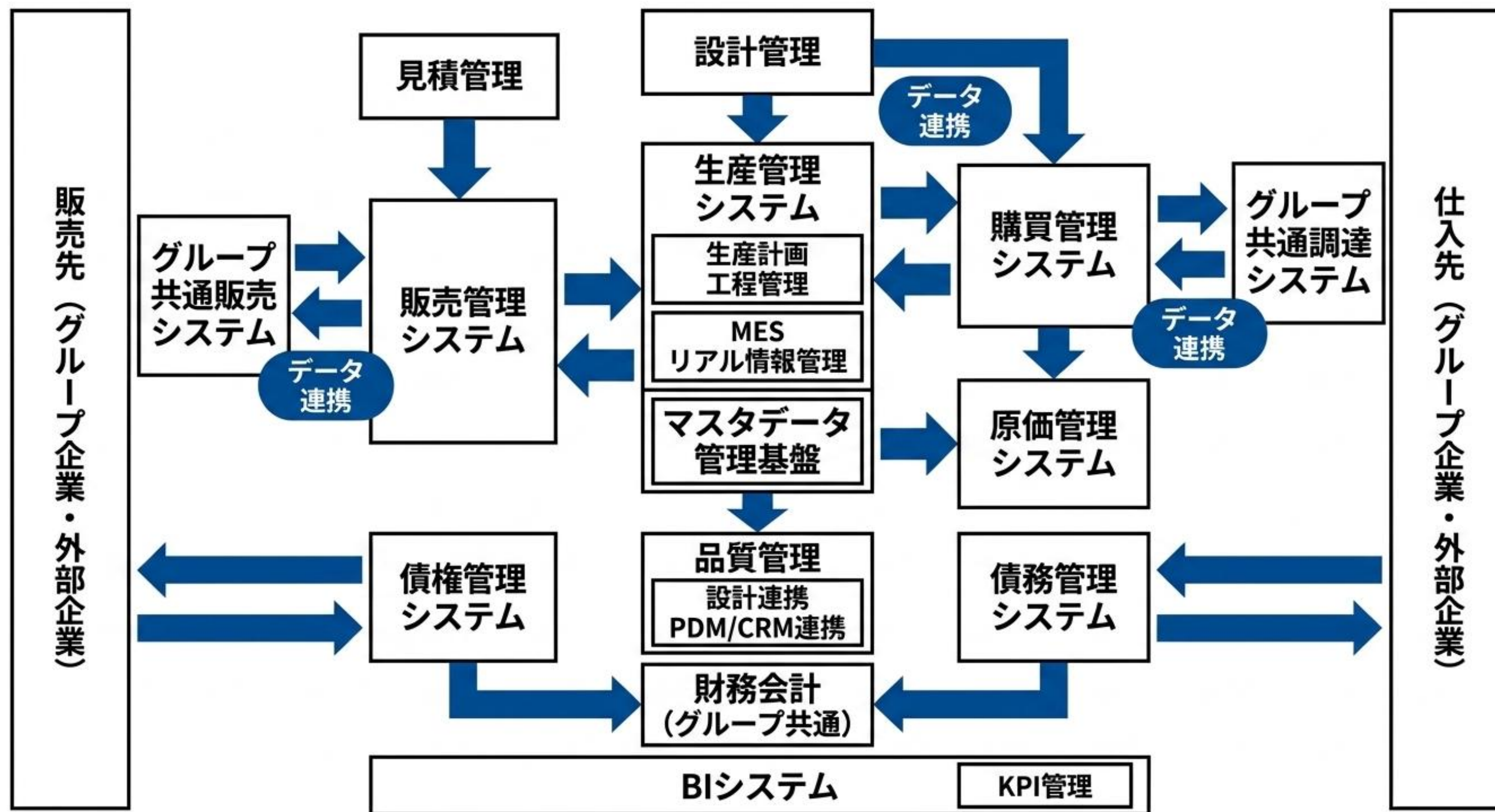
活用戦略 (具体的な取り組み)

PDM活用：
設計データの再利用と効率化
社内ナレッジベースのシステム化
技能伝承（多能工化）教育

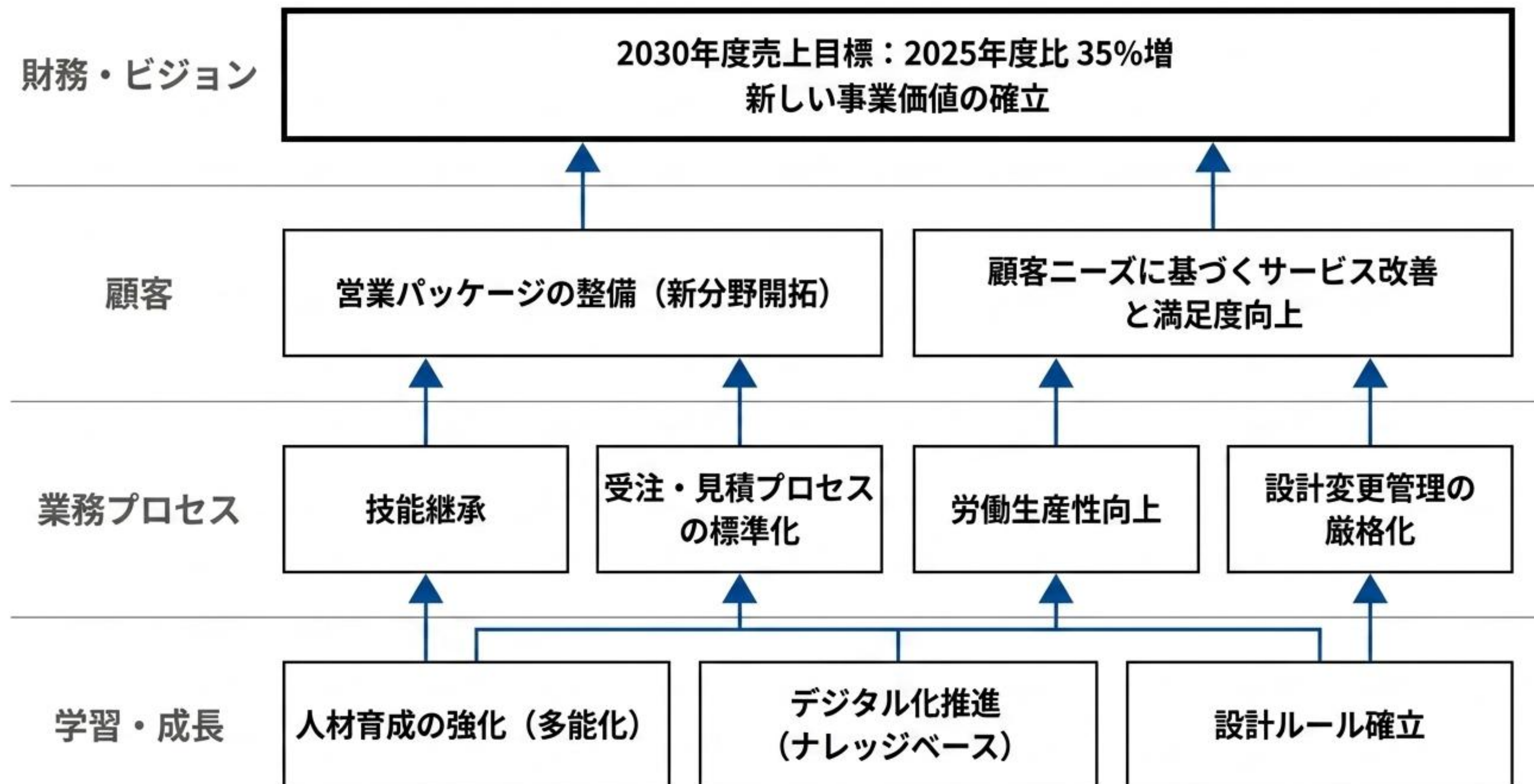
マスターデータ活用：
全社横断的なデータの利活用
データガバナンスの強化

MES/BI活用：
リアルタイムな予実管理と原価可視化
KPIモニタリングと予測分析
データドリブンな意思決定支援
進捗の見える化
品質データの即時フィードバック

新システム全体像

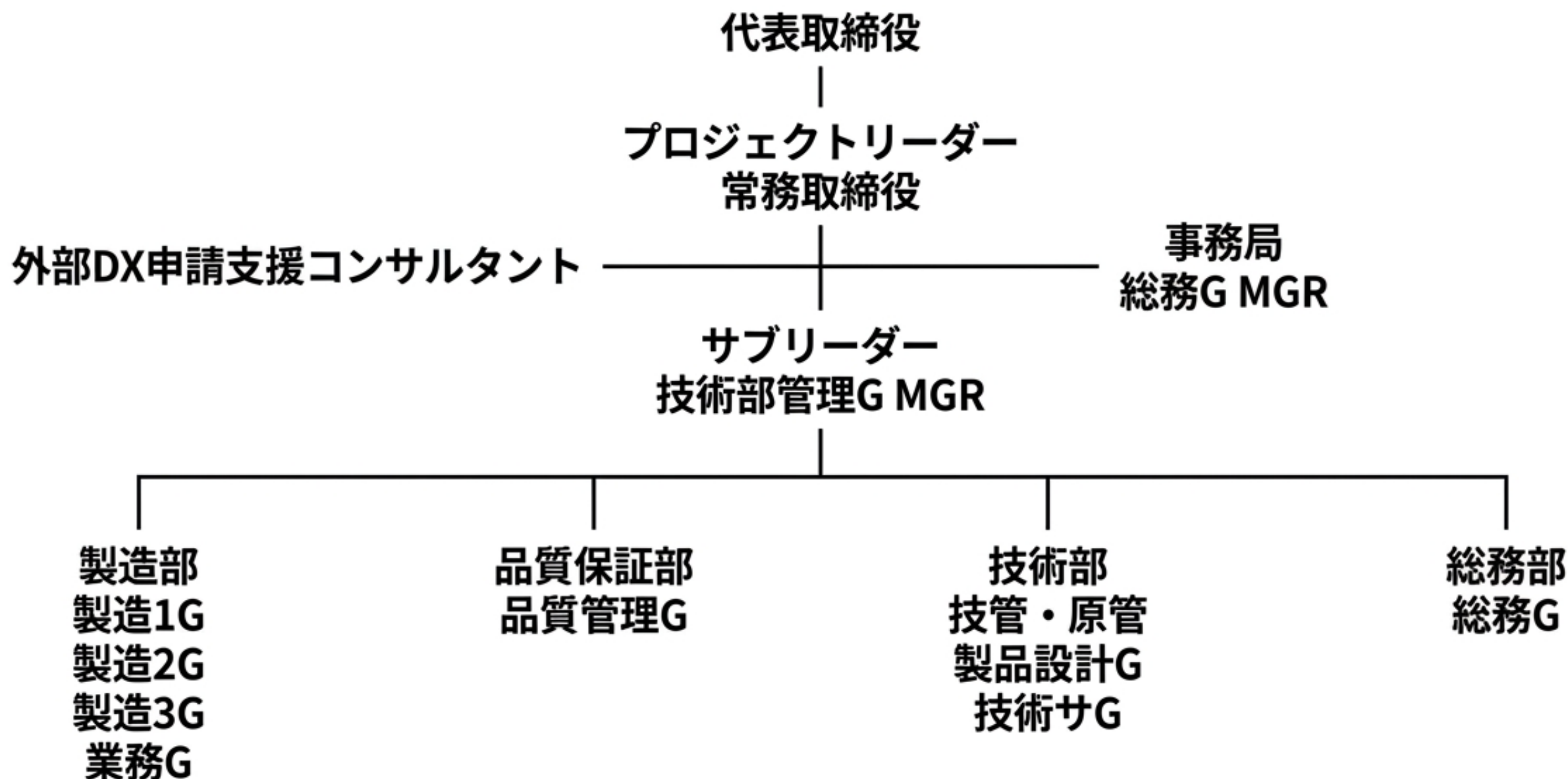


BSCの戦略マップ



DX推進実行体制

代表取締役を統括責任者として、全社横断の体制でDXを推進する



DXによる変革への重要指針(KGI/KPI)

財務・顧客の視点

- ・2030年までに売上35%増を目指す

業務プロセスの視点

- ・部署間のシステム連携による情報の共有化
- ・設計データ流用による業務の効率化
- ・AIなどの新しいデジタル技術を活用した業務改革

共有化率
流用率
改善数

学習・成長の視点

- ・社内ナレッジベースのシステム化
- ・既存設計資産の電子化
- ・多能工化プログラムの実施

システム化率
電子化率
受講率

株式会社 戸上デンソー

www.togami-denso.co.jp